

10月 会議 2億7,500万円余の補正予算を審議・可決

総務費 1億711万円

- Q** 国庫補助地方創生臨時交付金の算出根拠は。
- A** 国で定められた計算式に則って交付されます。
- 具体的な要素として、人口とコロナウィルス感染者数を元にしながら、細かい計数が掛けられています。
- 基本的には小さい市町村にできる限り手厚く配分されるようになっていきます。

- Q** 地域情報通信網整備事業の内容と設置場所について。
- A** 地域BWAはそれぞれの自治体において地域の公共サービスの向上に資するデータサービスを行うために、特別に割り当てられた制度のことです。

災害が発生した場合、独自の回線として通信できるというメリットがあります。

現在予定している場所は、栗ヶ丘小学校校庭・飯田雨水排水ポンプ場・小布施町営グラウンド・北岡の行政防災無線局を予定しています。

- Q** 防災倉庫設置工事の規模及び収納物品はどのようなものか。
- A** 倉庫は、文化体育館と中学校の隣の2か所を予定しています。大きさは4坪半ほどです。防災関係の備品や消耗品を収納する予定で、手で移動できる折りたたみコンテナ550個が収納できるスペースを確保しています。

衛生費 1,487万円

- Q** 感染症対策環境整備支援事業費の対象経費及び補助金交付の詳細は。
- A** 新型コロナウイルス感染症の緊急包括支援事

業として、県でも医療分、介護分、障害分等があります。掛かった経費には人件費も含め補助対象になっています。

県事業の助成金を使って不足した部分を町から支援します。病院は100万円、それ以外の診療所、事業所については最大50万円までの補助をしています。

- Q** PCR検査は町内で可能なのか。また、補助金の交付は。
- A** 町内医療機関では1医療機関が手を挙げたと聞いています。
- どうしてもかかりつけの医療機関で検査を受けたい場合、町で補助を行いたいというのが今回の提案です。PCR唾液検査料は1万9,500円くらいで、3割が自己負担と考えております。

商工費 8,741万円

- Q** 千曲川流域の花火大会開催について。
- A** 商工会・文化観光協会・アラ小布施の三団体から支援を受け実行します。

教育費 1,002万円

- Q** 学生応援支援事業の学生人数の算出根拠は。
- A** 200人の根拠は、今大学1～4年生に該当する当時の中学生1学年が大体110名ほど。進学率全体が8割、そのうち大学が4割5分、そのうち県外が7割として、およそ140名と見込み、その他は50名強と見込みました。

予備費 3,181万円



未来を見据えた町づくりを

議長 関 悦子

新年明けましておめでとうございます。皆さまにはお健やかに新春をお迎えのことと心からお喜び申し上げます。

日頃は議会活動に対して温かいご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

さて、昨年に発生した新型コロナウイルス感染症は、あつという間に全世界に広がり、今もなお世界中が大きな困難に直面しています。

私たちの生活様式も大きく変化せざるを得なく、大切な人との交流も制限が必要となるなど、多方面で我慢を強いられる状況が続いています。

一刻も早く、安心して暮らせる日常がもどって欲しいと願うばかりです。

そんな中、議会では昨年、新たに「小布施町議会アシスタ―会議」を立ち上げ、町民の皆さんと共に、今後

の小布施町議会の活性化などについて、議論を始めました。今後も町民の皆さんから様々なご意見、ご提案をいただき、議会の在り方などについて小布施町の未来を見据えて研究を重ねてまいりたいと考えております。

さて、4期16年間に、小布施町政を牽引していただいた市村良三町長が、本年1月21日任期満了となりました。この間、町の発展に大きな貢献をされてきたことに心から敬意と感謝を申し上げます。

今後は、新たにご就任された桜井昌季町長をリーダーに、未来を見据えた町づくりの推進をご期待するものでございます。

新型コロナウイルス感染症が一日も早く終息し、安心して暮らせる日々が戻ることを心から願うとともに、皆様方のご健勝をお祈りし、新年のご挨拶いたします。



山崎博雄 事務局長

総務産業常任委員長
小西和実 議員

寺島弘樹 議員

議会運営委員長
関谷明生 議員

水野貴雄 議員

副議長
小林一広 議員

関 良幸 議員

町長
市村良三 町長

議会広報常任委員長
中村雅代 議員

議長

関 悦子 議員

渡辺建次 議員

監査委員

小淵 晃 議員

小林正子 議員

政策立案常任委員長
大島孝司 議員

竹内淳子 議員

社会文教常任委員長
福島浩洋 議員

祢津貴子 書記



小布施町公式
チャンネル
市村良三町長の退任
挨拶をご覧いただけます。

11月
会議

人事院勧告・コロナ対策

11月30日議決議案

☆人事院勧告に基づき特別職の職員、一般職員、議員の期末手当に関し条例の一部を改正しました。期末手当は12月1日に在職する者に支給することから11月30日に議決しました。

【改正の主なもの】

- 期末手当の引き下げ（年間0.05月分）
- 令和2年度：12月支給の期末手当の改定（0.05）
- 令和3年度：6月と12月の期末手当を均等配分

☆栗ガ丘小学校・小布施中学校学習用タブレットの購入について

地方自治法第96条第1項第8号で備品購入は700万円以上の取得ついて議会の議決が必要です。また共同調達による一括競争入札で契約の期間が令和3年3月31日となっており早期の対応が必要なため次のとおり議決しました。

栗ガ丘小学校：630台 契約金額27,706,140円

小布施中学校：320台 契約金額14,072,960円

契約の相手方：富士電機ITソリューション株式会社信越支店

○主な発言

- Q** 職員の給与の引き下げは、組合等との協議は済んでいるのか。
- A** 議会で議決されてから協議する。
- Q** 県の人事院勧告は部分休暇を導入するとなっているが、どのように検討しているか。
- A** 親睦会では給与の引き下げのみの案件なので今後考えていきます。



【導入するタブレット】

12月11日議決議案

総務産業常任委員会

○主な発言

- Q** ふるさと納税寄付金謝礼、委託料、使用料の内容は（1億4,900万円）。
- A** 宿泊費等の寄付金謝礼、特産品発送委託料、そしてふるさと応援基金の積立です。
- Q** 町長選挙の予算の内訳は（106万円）。
- A** 選挙運動用自動車運転手謝礼、印刷製本費、自動車借上料等です。
- Q** 民生児童委員活動費交付金の内訳は（2万円）。
- A** 負担金の補助及び交付金です。
- Q** 町営住宅管理費修繕料の内訳は（154万円）。
- A** 3軒分でうち1軒はシロアリ駆除。
- Q** 安市行事補助金の内容と増額の理由は（155万円）。
- A** 規模を縮小しての開催となり、寄付金が半額になったのでその金額です。
- Q** 多機関協働包括的支援体制及び国民年金事務費の返還金の内容と理由は、多機関協働包括的支援体制構築事業費（204万円）
- A** 台風19号及びコロナ感染の影響で相談事業や研修費が未実施となったためです。

○下水道事業特別会計：国道403号管渠布設替工事設計業務委託料（348万円）

○指定管理者に指定された団体

・おぶせガイドセンター（5年間）：株式会社ア・ラ・小布施

社会文教常任委員会

○後期高齢者医療特別会計：後期高齢者医療広域連合納付金（56万円）

○介護保険特別会計：電算事務委託料（113万円）

○指定管理者に指定された団体

を含む補正予算を可決

審議期間：
11月30日～
12月11日

- ・小布施ワークホームみすみ草（5年間）：社会福祉法人 夢工房福祉会
- ・小布施町中央同和対策集会場（5年間）
- ・小布施町雁中同和対策集会場（5年間）
- ・小布施町雁中地区共同作業所（5年間）
- ・小布施町福原地区共同作業所（5年間）

部落解放同盟小布施町協議会

政策立案常任委員会

陳情4号：安全・安心の医療・介護の実現と国民のいのちと健康を守るための陳情書

陳情5号：核兵器禁止条約への日本政府の署名・批准を求める陳情

○主な発言

- ・国の攻防にかかわる案件であり、地方議会が関係する案件なのか不明である。批准については、条約関係、安全保障、国際社会全体からみると疑問を持っている。
- ・唯一の被爆国である日本が先導的に声をあげるべき。小布施町は非核平和宣言を行っており、非核三原則の趣旨にのっとり陳情を採択すべきである。
- ・日本は被爆国として核兵器には反対である。ただ、アメリカの核の傘下により守られていることから趣旨採択を求める。
- ・世界全体が核兵器を持たなければ平和な世界ができるのではないか。被爆国として考えるべきである。核兵器禁止条約への署名・批准に賛成である。

陳情6号：「敵基地攻撃能力」の保有に反対し平和外交の推進を要請する陳情

○主な発言

- ・敵基地攻撃能力の反対と平和外交の推進との自衛隊能力と外交の関係が一緒になっており、分かりにくい。
- ・敵基地攻撃能力は先制能力ではないのか。まだ議論は煮詰まっていないのではないか。
- ・敵基地攻撃能力は国会でも論議されていない。平和的な外交を重視するということは、現在の外交的には難しいのではないか。敵基地攻撃能力の反対については時期尚早ではないか。
- ・自衛隊の演習の姿を見たことがあり、物々しい雰囲気を感じたことがありそのことから平和外交を優先と感じた。

陳情4号は全員挙手で原案どおり採択すべきものと決定する。

議案5号は趣旨採択の動議があり、動議に賛成する委員が1名以上あり、動議が成立し、動議の採決の結果、賛成と反対が同数であったため、委員長は賛成と採決したことから趣旨採択と決定する。

陳情6号は挙手少数で採択することは否決されました。

【趣旨採択】とは

請願、陳情議会の意思決定は、理論的には「採択」か「不採択」の2種類しかないが、議会としては請願や陳情の願意については十分に理解できるが実用性の面で確信が持てないといった場合に採られる決定の方法です。

本会議で賛否が分かれた議案															
下記以外の議案は 全議員賛成・一部議案賛成多数で議決しました		寺島弘樹	水野貴雄	関良幸	竹内淳子	中村雅代	福島浩洋	小林一広	小西和実	大島孝司	小淵晃	関谷明生	渡辺建次	小林正子	議長は採決には加わらない
陳情	「核条約禁止条約」趣旨採択	反	反	反	反	反	賛	賛	賛	賛	賛	賛	反	反	
	「核条約禁止条約」への署名・批准の陳情	賛	賛	賛	賛	賛	反	反	反	反	反	反	賛	賛	
	「敵基地攻撃能力」の保有の反対についての陳情	賛	賛	賛	賛	賛	反	反	反	反	反	反	賛	賛	

一緒に小布施の未来を考えよう!! 「小布施町議会アシスター会議」

小布施町議会では、皆さんからの要望、提言その他の意見を広く聴く機会として、「小布施町議会アシスター会議」を新設しました。一般から9人の公募があり、議員5人、ファシリテーター1人、計15人でスタートしました。

「アシスター」とは提言づくりなど町議会を支えナイス！アシストする住民委員を表す言葉で議会活性化特別委員会が作り出した造語です。

第1回会議 10月14日開催

会議の趣旨説明、自己紹介、フリートークを行いました。

第2回会議 11月18日開催

「小布施町の未来のための提言」、「議員の成り手不足への提言」、「議員定数、議員報酬への提言」の3項目について、1項目3分以内で提言を発表してもらいました。

- 「小布施町の未来のための提言」は、
- 同和人権研修を怠らないこと。
 - あらゆる場面で男女半々を。
 - 入札制度の改革を。
 - 議員からの政策提案が少い。
 - 子育て世帯への援助。
 - 健康長寿日本一。
 - リモート企業の誘致。
 - 議会のリノベーション。
 - QRコードで議会の動画公開。
 - 災害対策への予算増。
 - 健康医療福祉の強化。
 - 弱い人が住みよい町づくり。
 - 認知症に対する福祉の充実。
 - 若者が町に戻ってきてもらえる施策。
 - 農業後継者の増加強化。
 - スポーツの活性化。
 - 子ども教育の独自性。



- 小中学校の更なる連携。
 - 住んでいる町民が幸せな町づくり。
 - エンゼルランドの利用方法。
 - 隣近所で支える仕組みづくり。
 - 歩く姿勢を変えて健康づくり。
- など。
- 「議員のなりて不足への提言」は、
- 議員としての魅力不足。
 - 町民が政治に無関心。
 - 仕事と議員が両立できない。
 - 家族への負担が大きい。
 - 議会報告会をもっと開いて欲しい。
 - 地域推薦の議員が減ってきている。
 - 委員会などはオンラインでもできるように。
 - 特に若者は関心がない。
 - 新しいマインド試行の取組みが難しい。
 - 議員報酬が低すぎる。
 - 事務局の職員が少ない。
 - ワークショップの活用。
 - 子育てが忙しいので議会だよりも読まない。
 - LINEを活用しての情報発信。
 - 議員個人の活動内容の公表。
 - どうして町議員が14人必要なのか町民に分からない。きちんと説明する機会が欲しい。
 - 議員活動の日数を減らすなどの負担軽減を。
 - 議員定数が増になれば出やすくなる。
 - 議会が役割を果たしていない。活動が見えない。
 - 仕事を続けながらできるように夜間議会、YouTubeの活用。

- など。
- 「議員定数、議員報酬への提言」は、
- 報酬を上げるのは理解が得られない。
 - 定数は10人で十分。
 - 一生懸命活動した議員には政務活動費を。

千曲川災害復旧工事現地視察

令和元年10月12日・13日襲来した台風19号で被害を被った千曲川堤防工事
現場の復旧現場を令和2年11月24日に現地視察しました。

視察場所

- ① 中野市笠原（床固工災害復旧工事）
- ② 千曲川 飯山市木島（堤防浸透対策工事）
- ③ 千曲川 小布施町大島（土嚢設置箇所）

参加者

関悦子議長、寺島弘樹、関良幸、竹内淳子、中村雅代、福島浩洋、小西和実、小林一広、大島孝司、小淵晃、関谷明生各議員
林信廣建設水道課長補佐、山崎博雄議会事務局長



①床固工災害復旧工事（中野市笠原）

説明者・・・三戸部千曲川河川事務所・建設専門官

現場は夜間瀬川の終点であり、工事は1個当たり6トンあるコンクリートブロックを3,000個積み上げて、川床を固める工事です。

工事は令和3年3月末に完了予定です。



③土嚢設置（千曲川右岸堤防上、小布施町大島～飯田地籍）

説明者・・・林信廣小布施町建設水道課長補佐

令和元年10月の台風19号の豪雨で千曲川堤防を越水した箇所については、国土交通省の方針で「堤防上に土嚢の設置」が許可されます。

町では千曲川の決壊の原因になりうる越水対策



②堤防浸透対策工事（飯山市木島）

説明者・・・西沢千曲川河川事務所中野出張所長

現場は平成18年、25年に堤防の漏水が発生しており、浸透漏水で堤防が決壊する危険性があります。

堤防内側に鋼矢板という鉄板を地中15メートルまで埋め込む工事です。



とし予算4,222万円で、約1トンの土嚢1,250袋を小布施パーキングエリアから小布施橋の間に設置。

土嚢の劣化と漏水を防ぐため、小布施独自の知恵で建設用強化シートで覆ってあります。



小中学校生徒先生全員に配られる950台のタブレット

新型コロナウイルスの感染状況を見ると、長野県では11月12日に累計400人を超え、長野広域圏と北信広域圏の感染警戒レベルを「2」から「3」に引き上げ、13日には長野広域圏をレベル「3」から特別警戒報を出す基準となる「4」引き上げました。14日には町内にも感染者が確認され、感染拡大が身近のものとなりました。18日は累計感染者数が500人を超え22日には600人を超え、29日には700人を超えました。この半月で倍近くまで上がり、終息すべきものが逆に益々拡大していく新型コロナウイルスの対応について、小布施町の対策事業の進捗状況と成果、今後の方針について伺います。

①「町税の徴収猶予制度」「固定資産税の軽減措置」「国民健康保険税の減免」は。納期の猶予、減額の見込み額は。今後の方針は。

②「テイクアウト・デリバリー補助金」「商工業者店舗等賃借料補助金」について、第1弾、第2弾の成果と今後の方針は。

③「テレワークとオンライン」「タブレット端末」について、ハード（本体、学校の環境整備、家庭の環境整備）とソフト（生徒、父兄の知識、指導者の能力育成）の進捗状況は。

④「学生支援給付金」の進捗状況は。自宅以外の県内居住学生も対象にすべきでは。

⑤「新型コロナウイルス感染症に伴う人権侵害を防ぐ宣言」を政策立案常任委員会の委員会提案として10月議会で決議しましたが、町の対応と見解を伺います。

⑥「プレミアム商品券の成果は。」「スーパープレミアム商品券（第2弾）」について、近隣市町村では不公平に不満の声が出ているが、不公平にならない策は。

⑦「感染拡大対策」は。

⑧PCR検査体制の拡充は。

A ①徴収猶予の措置を行ってもなお納税が困難である場合は個別に対応していきます。固定資産税の減額総額は3千万円、国保税の減免総額は約百万円です。

②テイクアウト・デリバリーは効果的な事業者支援となりました。店舗等賃借料補助金の今後の方針は、町内の経済動向等を踏まえ総

合的に判断していきます。

③タブレット端末は来年1月に納入、環境整備は3月末完了、環境整備のない家庭にはモバイルルーターをお貸しする予定です。

④今回は、県外の学生に限らせていただきますと考えています。11月の申請は102名で、12月に振込み予定です。

⑤議会として、新型コロナウイルス感染症の人権問題にいち早く宣言を決議いただきましたことは、町としてもとても有難く、心強いものです。このような時こそ、地域の繋がりを大切にして、互いを支え合い、この難局を町民一丸となって乗り越えていきたいと考えています。

⑥不公平にならないような方策を検討中です。

⑦各事業所で継続した感染予防の取組が大切と考えています。今後でもできる限りの事業所支援を講じていきます。

⑧11月末現在、診療・検査実施医療機関は県内537医療機関が指定され、診療や検査を受けることができます。引き続き「診療・検査実施医療機関」の拡充・強化を進めていきます。



大島孝司議員

中島教育長、中條財政課長、須藤企画政策課長、富岡産業振興課長、益満健康福祉課長補佐

新型コロナウイルス感染症対策事業の進捗状況、成果、今後の方針は

- 定数を減らして報酬を上げることはできないか。
- 有名な大臣を呼んで政治に興味を持ってもらう。
- 報酬は上げてもいい。
- 住民が興味を持てるような議員活動。
- 動画や写真で紹介するコーナーを作りたい。
- 政務活動費は必要。
- 定数は現状通りあるいは増。
- 1委員会が7人なので28人いてもいい。
- 定数増で出馬しやすい環境を。
- 議員報酬は上げるかゼロにする。

など活発な意見が多数出ました。皆さんの町政への強い思いを感じる会議でありました。今後アシスター会議で意見を取りまとめ、今回頂いた貴重な意見、提言を受け止めて議員活動を進めていきたいと思っています。

こうして1人でも多くの町民と対話を重ねることが、議員の成り手不足解消、議会活性化にも繋

11月会議 一般質問

※小布施町で新型コロナウイルスの感染者が確認されましたので、11月会議も一般質問は時宣にかなう緊急性・必要性があるものに限定していただくよう議会運営委員会で決めた議員各位に協力をお願いしました。

目次

大島 孝司	9
新型コロナウイルス感染症対策事業の進捗状況、成果、今後の方針は	
関 良幸	10
遊休農地対策は	
寺島 弘樹	11
逆境打開に向けた2021年度予算編成は	
渡辺 建次	12
コロナ禍におけるいじめなどの被害未然防止と生活苦対策は	
水野 貴雄	13
コロナ禍の状況において育英金貸付の見直しは	
小林 正子	14
高齢になっても安心して地域で住み続けられるための道すじを	
関谷 明生	15
市村町政16年間の輝かしい足跡を振り返って	

第3回会議 12月18日開催

第2回会議で出た議会の課題

- ・議員の活動、議会の役割が町民に伝わらない。
- ・議会運営や予算執行の透明性が足りない。
- ・地域密着していない、繋がりが薄れている。
- ・若者が政治に関心がない。
- ・町民が政治参画する意識が足りない。
- ・仕事をしていると議員との兼業がスケジュール上難しい(通年議会・昼間開催等)。
- ・専門性を持った町民をうまく活用できていない。

課題をもとに今後の議論をし、今後は5つのテーマにまとめて話し合うことになりました。

今後の進め方

12-1月	2-3月	4-5月	6-7月	8-9月
町政と町民の関係性	健康・医療・福祉	農業	子育て・教育・人権	町の活性化・町内資源の有効活用

人事案件に同意



固定資産評価
審査委員会委員

久保田明男氏（上町）（60歳）
任期・3年

＜QRコードで議会の動画公開＞

第2回会議での委員の提案を特別委員会、全員協議会に諮り、採用し、実現となりました。



町長退任挨拶
(小布施町公式チャンネル)



関 良幸議員

遊休農地対策は

久保田副町長

遊休農地の解消、有効活用について、若手農業者や新規就農者等を交えてオール小布施で話し合いをしたい

Q

農業従事者の高齢化や後継者不足などの理由により遊休農地となった土地は、様々な問題が生じています。雑草が繁茂し病害虫が発生したり、野ネズミや野生動物の巣となり周囲の農作物の被害が起こったり、甚だしきは家庭ごみや古タイヤなど廃棄物の不法投棄の要因となる場合もあります。特に、りんごや桃の木が耕作されずに放置された遊休農地は、フラン病の伝染やシンクイムシの侵入など、近隣の農地へ大きな悪影響を及ぼしています。

農業立町を標榜する小布施町として、遊休農地の発生を未然に防止その解消を図ることは、農業の発展のためにも、美しい農村風景の保全を図るためにも大きな課題ではないかと考えます。

「第6次町総合計画」では、遊休農地の解消に取り組む、農業生産力の維持拡大と美しい農村風景の保全に努めるとありますが、ど

のような具体的な施策を考えているのでしょうか。また、遊休農地の減少の要因はどのように分析しているのでしょうか。

A

農業委員及び農地利用最適化推進委員の皆さんが、毎年農地パトロールの結果に基づき、農地の適正管理の依頼を行い、貸したい・売りたいなどの要望をお聞きし農地バンクに登録していただき貸し手と売り手をつないでいます。また、産業振興課に農地専門相談員を置き、借り手を紹介するなどの活動を行っています。さらに、新たな遊休農地の発生を予防するためには、担い手の育成、農地の集積化を進めることが大切と考えています。令和2年度の遊休農地の面積は、パトロール直後の暫定値で前年度より0.7haの減少となっております。

Q

「農地バンク」の利用実績の把握と担当する「長野県農業開発公社」との連携の実情

A

昨年度成立したものは、賃貸が2件、売買が3件の計5件と、件数はあまり多くないのが現状です。これは、利用できる方が限定されていることなど、各種の条件があるためです。

Q

農業者委員会を中心として、意欲的な若手農業経営者や優れたセンスを持つ地域おこし協力隊員を募るなどして、小布施町に適した遊休農地の有効活用を検討する場の創設は考えられないでしょうか。

A

農業者委員会や土地改良区、JAながのの部会長などの皆様に集まっていたいただき、農地の集積・集約化、小布施ブランドなどについて話し合いをしてきています。遊休農地の有効活用につきましても、若手農業者や新規就農者等も交えて、いわゆるオール小布施で話し合いをしていきたいと考えています。

Q

近隣農地耕作者の皆様への迷惑を考えると、遊休農地所有者の皆様にはある程度の負担していただくこともやむを得ないのではないかと考えます。例えば、近隣農地耕作者の皆さんが除草するときに、遊休農地所有者の皆様はいくばくかの報酬を負担していただき一緒に除草してもらうなどの制度化は考えられないでしょうか。

A

制度の構築には、多くの課題や対応すべき問題があると思います。しかしながら、遊休農地を減少させるには様々な手段、方法が必要であり、今回のご提案について農業委員会や農業関係者等の集まりの場において、紹介、説明させていただき、ご意見等をお聞きしていきたいと思



耕作放棄された農地は近隣の迷惑

Q



寺島弘樹議員

逆境打開に向けた2021年度予算編成は

中條財務課長・須藤企画政策課長・大宮総務課長

事務的経費の削減、再生可能エネルギー活用等踏まえた交通システム導入の検討、住民への情報発信は既存の情報媒体の活用を図りたい

財政健全化とのバランスを保ちつつ、困難な予算編成作業が待ち構えています。

新型コロナウイルスによる経済活動等の低迷で税収が減少する可能性が大きくなり、歳入不足が予想されま

す。歳出面では、漫然と継続する事業はないものと承知し、各事業の全面的な洗い出し、優先順位等の厳しい査定、精査が一層求められるところと見られます。予算編成作業等における各事業の費用対効果、縮小・廃止、不要不急事業の適否等諸施策が町民と共有して進められたのかどうかを踏まえ、予算編成作業に臨んでいただくことが肝要と考えます。一方、アフターコロナを見据え、逆境打開に向けた積極予算等反転攻勢を町民合意に基づき進める時と考え、2021年度予算編成作業等について伺います。



(1) 新年度予算の編成方針及び重点項目について伺います。(長野市はコ

ナウイルスの感染拡大や法人市民税の減少を見込み要求基準(シーリング)の設定、一般経費 対前年度8%縮減)
(2) 「安心・安全」から一歩進めた「住み続けたい」なる持続可能なまちづくり」をビジョンとして、明確に位置付けていくことはいかが。コロナ禍を奇貨とし、住みやすく利便性を視点としたICT活用が現状脱却を促す今後の大きな機会となると考えます。ICT活用を展開するスタート年として、次の施策を提案します。
① 町内交通システムの構築と導入・再生可能エネルギーの地産地消とCO₂削減に繋がる運行を目指す、デマンド型乗合自動車を導入し、電気自動車(無償貸与等検討)を町内交通として人の移動はもとより、地域の農産物直売所への野菜集荷など貨客混載活用。
② 地域情報ポータルサイトの開設・町からの情報だけでなくイベント情報を含む、これまで見つけにくかった地域の情報が、個人属性(年齢、趣味、嗜好等)に

応じ、個別提供が可能な新たなサービスの構築。(具体例)
○ スポーツ好きの方には、町内外近隣のスポーツイベントやサークル等で使う施設情報の優先表示。
○ 子育てママには、子育て関連イベント、保育関連情報の優先表示。
○ 趣味や学びの活用を考えている方には、町民講座やイベントの優先案内。
③ 利便性向上事業(具体例)
○ 母子健康手帳の電子化、母子健康情報/ワクチン接種履歴等をウェブ上で閲覧できる仕組みの構築。
○ 学校情報の提供サービスとして、子どもの通う学校別・学年別・クラス別に必要な情報の配信アプリ。
○ 「除雪車ナビ」の運行・稼働状況サービス機能として、その日の除雪車の走行・稼働状況を地図上で見やすく確認できるサービスを提供。(通勤時等の渋滞解消等)
○ 地域情報のポータルサイトのサービスを受けるための操作方法を含め、スマートフォンでの操作等の小布施町スマホ教室の開催。

A

(1) 新年度予算編成は「第6次小布施町総合計画」に掲げられた基本計画を踏まえ、具体化していきます。編成作業については、事務的経費は以前から継続的に削減し、平成31年度からは係ごとに予算上限目標を定める取組みを行っています。(財務課長)
(2) ① 町内交通システムの構築について検討を進めてきていますが、本格的な導入には至っていません。県内塩尻市のAI活用型のデマンドバスの先進的な取組みも参考に、電気自動車導入の可能性も含め、システム構築等の検討を進めていきます。(企画政策課長)
(2) ② 平成30年度から、専門的知見を有する方の参加による「地域メディア研究会」での情報発信の在り方検討を踏まえ、LINEサービス等に繋げ町民への発信を行ってきています。提案内容については、体制及び費用面等から早急な実現は困難と考え、現発信媒体の改善等を優先に、今後より分かりやすい情報発信の在り方を検討し改善してまいります。(総務課長)
③ ICT活用については、費用対効果等を検討し、今回の提案内容を含め、今後の業務改善に向けた議論を進めていきます。(総務課長)



渡辺建次議員

コロナ禍におけるいじめなどの被害未然防止と生活苦対策は

大宮総務課長

感染者に心を寄せていただくことを強調したい

Q 小布施町において、感染拡大といじめや誹謗中傷などが広がる前に、これらの行為は犯罪になるということを周知し、未然防止に努めてはどうでしょうか。

例えば刑法第208条（暴行罪）「暴行を加えた者が人を傷害するに至らなかった時は、2年以下の懲役若しくは30万円以下の罰金又は拘留若しくは科料に処する」、判例「暴行とは、人の身体に対する不法な攻撃方法の一切をいい、その性質上障害の結果を惹起すべきものであることを要しない」、刑法第222条（脅迫罪）「身体、自由、名誉又は財産に対し害を加える旨を告知して人を脅迫した者は、2年以下の懲役又は30万円以下の罰金に処する」などのほか、強要罪、名誉毀損罪、侮辱罪、信用毀損罪及び偽計業務妨害、威力業務妨害などが考えられます。

A 町としては、犯罪を強調した抑止対策よりも、感染者の方々に心を寄せていただくことを強調する形で情報発信をし、状況を見ながら発信方法を適宜見直してまいります。

Q 取り上げた犯罪以外にはどのような罪が考えられるでしょうか。

A 長野県をはじめいくつかの自治体では、差別禁止の内容を含む条例を制定していますが、いずれも理念条例であって罰則規定はありません。

コロナ禍における生活苦対策は
永井健康福祉課長
生活保護の要否や程度の判定は、県の保健福祉事務所が行っています。

Q セーフティネット（安全網）としての生活保護の認定は。受給は恥だと言う風潮の中、その捕捉率は2割前後と言われています。コロナ禍で生活困窮者の増加が見込まれる状況下、生活保護をより利用しやすい形、また、生活保護から漏れてしまう人々を、どのように救済するかが問われる事態になりつつあると思われます。

A 生活保護の必要性や程度については、衣食等月々の費用として、当該世帯に認定した最低生活費と認定した収入との対比によって決定します。

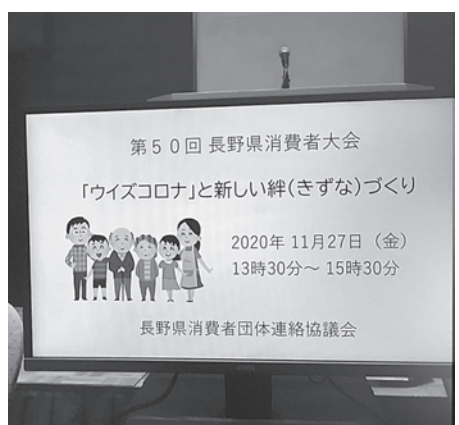
Q 町内の過去数年にさかのぼっての生活保護申請件数と、決定件数と決定率を伺います。

A 令和2年11月20日現在、生活保護世帯は、6世帯通常世帯数で取り扱います。平成28年度以降の申請件数は4件で、そのうち認定は3件、決定率75%です。

生活保護の相談があった場合は、県長野保健福祉事務所と相談し、状況により、長野県就労支援センター（まいさば信州長野）へつなぎ個別支援を行います。

Q 健康で文化的な最低限度の生活とはどのようなもので、町の受給者の生活水準はどの程度なのでしょうか。

A 具体的には当該地域の全世帯の70%程度の普及率を基準として認定するとしています。貴金属、債券といったものの保有は認めないものの、所持はできないという細かな決まりはありません。長野保健福祉事務所のケースワーカーが、当該地域の一般的世帯との均衡を失うことにならないと認められるものかを総合的に考慮して判断決定します。



ウィズコロナと新しい絆づくり（事例発表）



元気に育て小布施の宝、立派な演奏に拍手

Q この新型コロナウイルス感染症の影響で、現在アルバイト等をしている学生の収入減が大幅に激減し、生活に多大な支障が生じていると思います。

また、保護者の収入減も大いに重なる場合もあります。

収入先が現在の状況で無くなる場合、今、盛んに政府などで、自

コロナ禍の状況において育英資金貸付の見直しは

藤沢教育次長

ご相談に応じて

柔軟に対応してまいります

助・共助と唱えています。自助・共助では支援が足りず、今は特に、公助、すなわち、小布施町として公助を採用すべきと考えます。

小布施町育英資金貸付の見直しについて伺います。

子どもたちは、特に小布施町では、町の宝といわれています。このコロナ禍においては、現行の貸付金額では、本来の学業支援としては足りていないのではないのでしょうか。

感染の影響は、今後数年続くと思われる、学生支援の一環として、新たに月5万円から10万円の貸付金制度を設けるべきではないでしょうか。貸付返済期間についても、従来の方法を変え、現在「1年据置、貸付を受けた倍の期間」と規定されていますが、期間の延長及び貸付金の免除も含め、見直しを検討すべきと思います。

については、早急に支援の充実策として、貸付金額の見直し等を行

A い、学生支援策の充実を図るべきと考えます。

A 町の育英資金貸付制度につきましては、要件の当てはまる方に、学校の種類や自宅・自宅外からの通学などの区分に応じ、月額一万四千円から五万五千円までを上限としてお貸ししています。貸付の倍の期間内であれば、償還の回数や金額などは、ご相談に応じて柔軟に対応しております。

いづれ社会に出て自らの力で学費を返済していただく前提でお貸ししている貸付金としての性格から、むやみに償還期間を延ばしたり免除したりすることは適切ではないと思われます。

資金が不足する場合は、保護者が借入れできる国や民間金融機関の教育ローンを利用していただきたいと考えています。



2019年1月の成人式は思い出のランチルームにて



小林正子議員

高齢になっても安心して地域で住み続けられる道すじを 出役立ち番に有償ボランティア組織して負担軽減を 支えあえる町めざし 良い経験ひろめていきます

Q 小布施町の高齢化率は本年10月には34・1％に達しています。高齢者二人暮らし、一人暮らしの世帯が増えています。

「70歳を過ぎると、隣組長や安協の立ち当番など隣組の仕事がきつくなる」と嘆きの声が聞こえます。高齢化のなかで今、配慮が必要になってきているのが現実です。

高齢になっても住み続けていくための環境整備が必要です。多世代の同居が理想的ですが、そのためには、町内で育った子どもが安心して町へ帰ってこられる地域になつていなければなりません。地域に働く場所があることも必要です。

今現に二人暮らし、一人暮らしの高齢者世帯が増加しているわけですが、現実問題として、高齢者を支え、地域での仕事を代行したり、サポートしたりするボランティアの組織化が必要と考えます。災害の避難や除雪も含め、高齢

化が進むもとで、どのような町づくりをしていく計画か、答弁ください。

A 「高齢者だから支えられる側とひとくくり」に考えるのではなく、年齢を重ね、経験豊富な知恵袋として「人の役に立つこと」を一人ひとりが念頭において子どもから高齢者まで誰もがどんな状態になっても「困ったときはお互いさま」と、お互いを温かく見守り支え合える町を目指していきたい。

Q 高齢の方はだれよりも「お互い様」の考えを強くもっておられるが「迷惑になりたくない」という意識も人一倍強い。高齢者サポートの有償ボランティアの組織づくり、例えば安協の5のつく日の当番は、観光シーズンの駐車指導員と同様な、事業そのものを担当する有償ボランティアをやっていたなどが必要と考えます。そのため組織づくりを進

める考えはどうか。

A 社会福祉協議会の有償ボランティアの仕組みは、愛称「福ちゃん」があります。元気な高齢の皆さまは協力会員として登録いただき、活動へご参加をお願いいたします。松村自治会「ハッピーライフまつぼっくり」では、地域の皆さんに対するサービスを、僅かであっても負担していただき「気兼ねなくボランティアサービスを使ってもらおう」と、有償ボランティア制度を協議しています。

A 一つのアイデアとして受けとめさせていただきます。役割を担っていく年代の方々の理解を得るには、どうすべきか、難しいことも考えます。

Q ① 高齢者の出役の負担軽減や免除のために、隣組に過重な負担がかからないように、行政としての配慮が必要です。改善の考えはどうか。

② 自治会ではそのために高齢者

の様々な工夫をされていると考えられます。そうした経験を集約して町内に広めていただきたい。

③ 高齢化では、支え合いと共に地域で気兼ねなく、安心して住み続けることができるように共同体での負担軽減の配慮を促進いただきたい。



今年度創設された（「おでこポイントカード」）。65歳以上の高齢者の外出を後押し。コロナ禍により、「外出自粛」が求められる受難の状況もあったが、外出は高齢者の健康に不可欠。今後に期待されます。



最後の答弁をする市村町長

Q 不出馬のあいさつで「個人的な見解ですが、5期20年はこの町では長すぎる」との発言の真意と、町民力、地域力を高く評価されていますがその認識を伺います。

A 小布施町は伝統や文化をしっかりと守りながら更に繋ぎあった取り組みをするなど真摯の町民性を活かして持続可能で、発展的な町づくりを進めています。首長の新陳代謝も必要です。今はそのタイミングと思っています。

Q 小布施町を全国に名を馳せた大学との協働、日米学生会議、HUA×小布施、まちとしょテラソの建設プロポーサル、町のマイクロバスデザインの水戸岡鋭治先生、リオデジャネイロオリンピック50km銅メダリスト荒井宇宙選手の活躍の評価は。町づくり事業に大きく貢献されたツルヤスーパーの誘致、伊那食品工業「かんでんぱ」の開店、「長野電力」の開設などの志の高い企業との町づくりの評価は。

Q 16年間町民との協働で強く印象に残っている出来事は。また町民の皆様へ送るメッセージをお聞かせ下さい。

不出馬の真意は 町民力・地域力を 高く評価されていますがその認識は 町民力は一緒にやりましょうと肌で感じたこと 地域力は自治会の絆、支え合う気概にふれたこと

私は「協働と交流」を旗印にさせていただき、町民力として一緒にやりましょう、心からの歓迎を賜り、情報交換を頂くなど交流の力を我がことのように肌で感じました。地域力は、自治会を中心に人間同志の絆、支え合う気概を強く感じます。外へ向かつてはオール小布施としてまとまってくださり、感謝で一杯です。

Q 小布施町を全国に名を馳せた大学との協働、日米学生会議、HUA×小布施、まちとしょテラソの建設プロポーサル、町のマイクロバスデザインの水戸岡鋭治先生、リオデジャネイロオリンピック50km銅メダリスト荒井宇宙選手の活躍の評価は。町づくり事業に大きく貢献されたツルヤスーパーの誘致、伊那食品工業「かんでんぱ」の開店、「長野電力」の開設などの志の高い企業との町づくりの評価は。

A 「協働と交流」をテーマに町政に臨んでまいりました。町民の皆さんとの協働、町内企業の皆さんとの協働、更には大学・専門家の皆さんの識見と実践を頂く協働、町外の志の高い企業の皆さんにご支援頂く協働を考えて参りました。大学では東京理科大学に始まり、現在は東大先端研・慶應SFC、長野高専と締結させて頂いております。学生さん達が口コミ、SNSで小布施町を発信して頂き、町外の若い皆さんにも浸透してきています。町外の企業で「新宿高野」「リクルート」「住友不動産」「ソフトバンク」「電通」「JR九州」「水戸岡鋭治ドーンデザイン研究所」の志の高い応援をしていただき、合わせて町の名を高めて頂いています

Q 16年間町民との協働で強く印象に残っている出来事は。また町民の皆様へ送るメッセージをお聞かせ下さい。



小布施を発信した日米学生会議

A 16自治会の公会堂耐震化の改修・新築に、各個人のご負担も大きい事業へご賛同を頂けるか大変心配をしていました。平成24年から平成27年の3年間で、すべての公会堂の改修・新築を行って頂き、大変感激感動しています。メッセージとして、台風19号は町民のお力により乗り切ったと思っています。コロナ禍も町民と一緒に必ず乗り越えられると思っています。将来の明るい小布施町を作って頂きたい。私も町民の一人として微力を尽くします。